

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	保育所等訪問支援 みかんの木		
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 1日		～ 令和7年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	101	(回答者数) 39
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 1日		～ 令和7年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 3月 1日		～ 令和7年 3月 10日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	63	(回答者数) 37
○事業者向け自己評価作成日	7年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	理学療法士、作業療法士、言語聴覚療法士、保育士による多職種による訪問支援を行うことで、多角的な視点での支援を提供することができる。	各専門職で意見交換を行いながら、個別支援計画の作成と見直しをすすめている。	事業所内で多職種で情報交換・共有を図る事ができる機会を増やしていく。
2	対象児が事業所内の訪問リハビリテーションおよび通所サービスを併用している場合、保護者同意の元、情報共有を行う事ができている。	対象児に対して、訪問リハビリテーションを実施している職員が中心となり、保育所等訪問支援を実施できる体制作りを行っている。	関係機関とより連携を深めるための体制強化を推進していく。
3	本人・家族・訪問先施設の困りごとに対して、真摯に向き合いながら、専門性のある具体的な解決策の提案を行っている。	本人の苦手な部分だけでなく、得意な部分を伸ばすことができるような支援を心がけている。	より専門性のある具体的な提案を行うことが出来るように、職員への研修機会を増やしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対して家族等も参加できる研修会の提案が十分に実施できていない。	十分に研修会等について、提案できる機会を設けることができていなかった。	それぞれのニーズに応じた研修会の提案を実施していく。
2	訪問先施設によっては十分に、情報共有を行う事ができていない場合がある。	訪問支援の際に、情報共有を行う時間の提案が不十分であった	状況に応じた情報共有の提案方法の検討を行う。
3	予定変更の希望があった場合に十分に対応できていない場合がある。	限られた人員のため、希望があった場合に十分な対応が困難となっている。	十分な対応ができるように支援体制の見直しを実施する。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	保育所等訪問支援みかんの木
------	---------------

公表日 2025年3月20日

利用児童数

101

回収数

39

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	1.保育所等訪問支援のサービスの目的や運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	38	1			わかりやすい説明がありました	引き続きわかりやすい説明を行っていきます。
2	2.保育所等訪問支援の頻度や時間は適切ですか。	36	2	1		・一月に一回という頻度は適切とは思えない。情報の共有や改善、フィードバックを考えるとせめて一月に2回はあったら良いと思う。 ・認定されている市の要望です。どうしても必要な時は、月単位でも回数を増やしてほしい	十分な支援を実施できるように支援体制の見直しと強化に努めてまいります。
3	3.こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	36	2	1		担当の方が、とてもよく見ていただけて満足です。ただ、今回から他の方になるので以前と同じようにしていただけたら、嬉しいと思います。	担当者間で引継ぎと情報共有を行っていく予定となっています。
4	4.具体的にニーズに応じた個別支援計画が作成されていますか。	38	1			毎回現状に合った細かな対応していただき感謝いたします	引き続き、ニーズに応じた個別支援計画の作成を実施していきます。
5	5.保育所等訪問支援計画の説明がなされた上で、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	35	3		1	親から伝えにくいこと（遠慮であったり、説明自体が難しいことなど色々な意味で）も、専門の立場として必要性を伝えてもらえるので、とても助かっている。	引き続き、専門性のある支援をご提供できるように努めてまいります。
6	6.事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思えますか。	32	4		3	最初のお想像以上の支援をして居たけています	引き続き、適切な支援が実施できるように努めてまいります。
7	7.子どもや家族からの相談に対して事業所職員は共感的に支援していますか。	38	1				
8	8.定期的に、面談や子育てに関する助言等や、訪問時の様子について保護者と共有する機会が設定されていますか。	38	1			面談のお話いただくのですが、こちらの仕事の都合でなかなかお会いできていない状況です。	状況に応じた情報共有の提案方法の検討を行っていきます。
9	9.事業所においてプライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	9	1		29		
10	10.事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	5	6	6	22	研修の情報は提供してもらったことは無いが抱えている問題等に関して相談すると答えてもらったりアドバイスをもらえました。	それぞれのニーズに応じた研修会の提案を実施していきます。
11	11.定期的に通信・ホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報、業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	3	2	25		
12	12.個人情報の取扱いに十分に留意されていると思えますか。	35	3		1		
13	13.必要に応じた緊急対応や安全に配慮した支援が行われていますか。	31	1		7	わからないことや不安なことがあった際、連絡をさせていただいて適切な対応をしていただけました。	引き続き、必要に応じた支援を実施致します。
14	14.子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	37	1		1	すごく良くしていただいて大好きな先生だと言っていました。	引き続き、子ども達にも満足して頂ける支援が実施できるように努めてまいります。
15	15.事業所の支援に満足していますか。	36	3			子供が喜んでる姿を見て とても有難く思います	引き続き、丁寧な支援を続けてまいります。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				2025年3月20日	
保育所等訪問支援みかんの木		利用児童数 63				回収数37	
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	34	2	1		<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回の訪問により1か月の成長の姿に気づいたり、集団のなかでの必要な支援を細かく助言をしてもらえることにより、より良い個別支援が出来る。 ・とても具体的な回答をいつもいただき、1ヶ月その方法に取り組んでは次の機会に報告、検討、改善を行え、大変ありがたかったです。 	引き続き、具体的でわかりやすい提案や助言を心がけていきます。	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	31	3	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような困りごとに関しても、さまざまな視点からアドバイスいただき、こちらの考えが及ばないところもサポートしていただきました。 ・こちらの指導の意図も組んで保護者の方や子どもたちと関わってくださっているのとても心強かったです。 	引き続き、訪問支援員の知識・技術の研鑽に努めてまいります。	
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	31	5		1	<ul style="list-style-type: none"> ・どの質問にも非常に丁寧に回答していただけています。 ・フィードバックする時間がお互い作れたらもっと質の高い支援ができる。 	十分な支援を実施できるように支援体制の見直しと強化に努めてまいります	
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	29	7		1	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な指導に関しては褒めてくださいだったり、もう少しこうしたほうがいいのかもということも丁寧に教えてくださったりとても助かりました。 	引き続き、問題解決に向けた支援を続けてまいります。	
5 事業所からの支援に満足していますか。	29	7	1		<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の中での支援について具体的に教えていただいたこと、保護者と学校の間で、両方の支援について考え情報共有していただけたことがありがたかったです。 ・園だけで抱え込むのではなく、他施設の助言や情報交換ができるので助かっています 	引き続き、丁寧な情報共有と交換を続けてまいります。	
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 保育所等訪問支援みかんの木

公表日 2025年3月20日

チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
1 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	5	3				教具教材の見直しを定期的に行い、より適したものを揃えていきます。
2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	3	2		配置が足りないと感じることがある	支援体制の見直しと強化に努めてまいります。
3 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	3	1		目標に向けて常に情報共有を行い、振り返りながら必要に応じて方向性を検討、調整している。	訪問職員が参画できるような体制作りを進めてまいります。
4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	3			評価表は使用していないが、家庭連携の際には意向等は常に確認し、ご家族、学校等と方向性の擦り合わせを行っている。	保護者評価表の導入について検討し、意見を収集する機会を確保していきます。
5 従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	3				職員の意見を定期的に収集し、改善策を具体化する仕組みを整備していきます。
6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5	1	1		外部評価の実施について具体的な検討を進めます。
7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1				外部研修の活用を検討し、より実践的な学びの機会を増やします。
8 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	7	1				アセスメントツールの統一や評価基準の明確化を図り、精度を高めていきます。
9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	2				定期的なケース会議を設け、職員間での共通理解をさらに深めます。
10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	8					訪問先施設との連携を強化し、より具体的な支援計画を作成していきます。
11 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1				課題や改善すべき点：計画の更新頻度を定め、常に最新の情報を共有できるようにします。
12 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2		1		課題や改善すべき点：フォーマルなアセスメントツールの活用促進と、職員への研修機会を増やします。
13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4	4				課題や改善すべき点：支援内容をより具体的に記載し、実践的な計画とします。
14 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1				課題や改善すべき点：支援内容の見直しを定期的に行い、計画の実効性を高めます。
15 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	5	1		基本的には訪問前に情報共有しているが、タイミング合わないこともある。	課題や改善すべき点：情報共有ツールの導入を検討し、リアルタイムな共有を可能にします。
16 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	4	1		必ずではなく適宜行っている。	課題や改善すべき点：支援の振り返りを定例化し、気付きの共有を促進します。
17 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	7	1				課題や改善すべき点：訪問先の支援方針を尊重しつつ、協力体制を強化します。
18 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	8					課題や改善すべき点：記録のフォーマットを統一し、記録の質を向上させます。
19 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8					課題や改善すべき点：モニタリング体制を強化し、見直しの精度を上げます。
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1				課題や改善すべき点：サービス担当者会議の準備を充実させ、より適切な支援ができるようにします。
21 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		1		各関係機関との連携を強化し、定期的な情報共有の場を設けることで、より円滑な支援を実施します。
22 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	2				就学支援会議の活用を進め、移行時のスムーズな連携を図る体制を整えます。
23 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	5				専門家の助言を受ける機会を増やし、職員のスキルアップを促進します。
24 (自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	3	3		案内があったものについて時間の確保ができる限り参加している。	参加しやすい環境整備や業務調整を進め、会議への参加率向上を目指します。
25 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	1				情報共有の頻度を増やし、保護者と職員の意識統一をより徹底します。
26 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	2	5		園側にメインとなってもらい、必要な助言を行う	訪問支援員よりニーズに応じた研修会の提案を実施し、家族支援を強化します。
27 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8					利用者説明の際にチェックリストを活用し、説明の漏れを防ぎます。
28 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	6	2				訪問支援の目的や意義をより分かりやすく説明し、施設との連携を強化します。

29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8				家族面談の機会を増やし、意向を丁寧に反映できる仕組みを作ります。
30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	8				計画説明の際のフォーマットを統一し、理解しやすい内容に改善します。
31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	8				継続的に相談を受け付け、必要に応じて専門機関と連携しながら助言・支援を行ってまいります。
32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1		7		訪問支援のため、保護者同士が交流する機会を持つことが難しい状況ではございますが、保護者のご希望に応じて対応を検討いたします。
33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	2			相談対応の手順を明文化し、職員間での対応基準を統一してまいります。
34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	1	2	3	2	情報発信のツールとしてHPやSNSの活用を検討してまいります。
35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8				現行の個人情報管理体制を定期的に確認し、適切な取り扱いを維持できるよう努めてまいります。
36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8				子どもや保護者の状況に応じた伝達手段を確保し、必要に応じて支援ツールを活用してまいります。
37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	8				訪問支援終了後も継続的に相談を受け付け、訪問先の支援体制をサポートしてまいります。
38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	6	2			訪問先や担任の先生に合わせて実施している。
39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	8				訪問先や担任の先生のご意向に合わせて、カンファレンスの定期化を検討してまいります。
40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8				支援内容の共有方法を統一し、保護者の方々に分かりやすい形で提供できるよう努めてまいります。
41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	7	1			適切な個人情報管理を徹底し、必要に応じて職員研修を実施してまいります。
42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		3		訪問先施設との定期的なコミュニケーションを強化し、信頼関係の構築に努めてまいります。
43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	3			各種対応方法について周知徹底に努め、定期的な訓練を実施してまいります。
44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1		1	安全管理に関する研修・訓練を強化し、安全計画の見直しを行ってまいります。
45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			1	ヒヤリハットの共有方法を見直し、再発防止策を定期的に検討してまいります。
46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	2		1	虐待防止に関する研修を定期的に行い、職員の意識向上に努めてまいります。
						身体拘束に関する方針を明確化し、保護者への説明を徹底してまいります。